

福証から夢をかたちに

～上場前も上場後もお手伝いします～

～目 次～

1. 福岡証券取引所の概要
2. 中期経営方針
3. 株式上場に向けた支援
4. 株式上場後の支援
5. 地域との連携

2022年9月2日

証券会員制法人 福岡証券取引所 専務理事 酒井 慎一

1-1 福岡証券取引所の概要

設立	1949年6月7日（開所7月4日）
組織形態	証券会員制法人
会員数	21社
上場会社数	107社
うち単独	26社
	（本則19社、Q-Board7社）
取引時間	前場 9:00～11:30 後場 12:30～15:30

2022年8月1日現在

- ・九州・沖縄・中四国地区における唯一の金融商品取引所
- ・地域の直接金融の場
- ・地域密着型



証券会員制法人札幌証券取引所
（アンビシャス）

株式会社
日本取引所グループ（JPX）
※2013年1月4日発足

株式会社東京証券取引所
（グロース）

株式会社大阪取引所
市場デリバティブ取引を取扱

株式会社東京金融取引所
金利先物、為替証拠金取引等を取扱

株式会社名古屋証券取引所
（ネクスト）

証券会員制法人福岡証券取引所
（Q-Board）

※（ ）内は新興市場の名称

過去廃止になった取引所
神戸証券取引所（1967年閉鎖）
新潟証券取引所（2000年に東証へ吸収合併）
広島証券取引所（2000年に東証へ吸収合併）
京都証券取引所（2001年に大証へ吸収合併）

・2001年までに東京・大阪に近接した地方取引所が廃止され、東京・大阪に集約。

・福証は、地域に残された数少ない取引所の一つとなっており、地域の視点を持ち、地域経済と一体となった運営を展開。

1-2 これまでの軌跡

- 明治17年（1884） 博多米商会所設立**
福岡証券取引所は、明治17年、米穀の売買取引市場である博多米商会所を開設したのが始まりです。その後、明治26年に(株)博多米穀取引所に改称、明治28年に(株)博多米穀株式取引所となり、大正3年に米穀取引を廃止し、株式取引を専業とする(株)博多株式取引所となりました。
- 昭和24年（1949） 福岡証券取引所設立**
昭和18年に全国11取引所統合により、日本証券取引所福岡支所となりましたが、昭和22年に解散し、昭和23年の証券取引法の公布を受けて、昭和24年に福岡証券取引所が設立され、売買立会を開始しました。
- 平成10年（1998） 福岡証券取引所活性化推進協議会設立**
経済界や行政など各界が一体となり、本所の活性化を図り、地域経済の発展と、アジアの拠点としての九州の役割高揚に資することを目的として、協議会が設立されました。
- 平成11年（1999） 福証単独上場会社の会結成**
本所だけに上場している単独上場会社をメンバーとして、株式に関する諸般の問題について研究討議を行い、あわせて株式の適正にして円滑なる流通に寄与することを目的として設置されました。
- 平成12年（2000） 新興市場「Q-Board」開設**
成長の可能性のある企業を対象として、機動的な資金調達の機会を提供し、新規産業の育成を支援するとともに、投資者に対して幅広い投資機会を提供することを目的として、ベンチャー企業向け新興市場「Q-Board」を開設しました。
システム売買へ移行※（売買立会場閉場）
売買立会場は約50年の歴史に幕を降ろしました。
※単独上場銘柄のみ。重複上場銘柄については平成19年に移行。
- 平成13年（2001） 証券会員制法人福岡証券取引所へ名称変更**
- 平成17年（2005） 九州中小・ベンチャー企業IPO支援プロジェクト（QSP）発足**
- 平成18年（2006） 「福証IRフェア」第1回開催**
- 平成21年（2009） 「九州IPO挑戦隊」発足**
九州・沖縄地区の各中小企業支援機関等（応援団）の支援を仰ぎつつ、福岡証券取引所での株式公開を目指す企業をサポートする『九州IPO挑戦隊』事業を開始しました。
- 平成22年（2010） 「福岡証券取引所 企業交流会」第1回開催**
アジア株上場制度創設
- 平成26年（2014） 九州IPO挑戦隊から初の福証上場（東武住販：Q-Board、JASDAQ）**
- 平成27年（2015） 九州IPO挑戦隊から初の福証単独上場（エスケーホーム：Q-Board）**
- 平成28年（2016） 「九州IPONAVIGATE」創設**
QSPの新規事業として、情報発信機能と相談窓口機能を兼ね備えたIPOに特化したプラットフォーム「九州IPONAVIGATE」を創設しました。
- 平成29年（2017） 「地域における企業の株式上場に向けた成長支援に関する協力協定」締結**
令和元年（2019）12月現在で、九州7県・沖縄・山口・広島各県に本店所在の銀行19行各々と協定を締結しています。
- 令和3年（2021） 「福証IPOセミナー」開始**
- 令和4年（2022） 「福証IPOアンバサダー制度」開始**

1-3 福岡証券取引所の概況(2021年度)

		2021年度	2020年度
上場会社数 (年度末) ※括弧内は単独上場を内書き	本則	90社 (19社)	92社 (20社)
	Q-Board	18社 (7社)	15社 (5社)
	計	108社 (26社)	107社 (25社)
新規上場会社数 (年度中) ※括弧内は単独上場を内書き	本則	2社 (0社)	0社 (0社)
	Q-Board	3社 (2社)	0社 (0社)
	計	5社 (2社)	0社 (0社)
上場廃止会社数 (年度中) ※括弧内は単独上場を内書き	本則	4社 (0社)	3社 (0社)
	Q-Board	0社 (0社)	0社 (0社)
	計	4社 (0社)	3社 (0社)
売買高・売買代金 (年度中)	本則	830万株 78億円	1,107万株 98億円
	Q-Board	562万株 50億円	775万株 104億円
	計	1,392万株 129億円	1,883万株 203億円
会員証券会社数 (年度末)	一般	13社	13社
	特定	8社	8社
	計	21社	21社

(参考)最近の福証新規上場会社のご紹介



上 場 日 : 2019年9月12日
会 社 名 : 株式会社ピー・ビーシステムズ
代 表 者 名 : 代表取締役社長 富田 和久氏
業 種 : 情報・通信業
所 在 地 : 福岡県



メディア総研株式会社
Media Research Institute, Inc.

上 場 日 : 2021年9月3日
会 社 名 : メディア総研株式会社
代 表 者 名 : 代表取締役社長 田中 浩二氏
業 種 : サービス業
所 在 地 : 福岡県



上 場 日 : 2021年9月13日
会 社 名 : 株式会社Geolocation Technology
代 表 者 名 : 代表取締役社長 山本 敬介氏
業 種 : 情報・通信業
所 在 地 : 静岡県



上 場 日 : 2021年11月1日
会 社 名 : 株式会社フロンティア
代 表 者 名 : 代表取締役社長 山田紀之氏
業 種 : 化学
所 在 地 : 福岡県



2-1 中期経営方針(2022～2024)「福証の目指す姿(経営理念)」

証券会員制法人福岡証券取引所は、地域の国際金融拠点誘致の動きを踏まえつつ、地域企業が株式上場を通じ、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を果たしていく上で必要不可欠な直接金融市場としての役割を果たし、経済の発展に貢献していくことを目指して、一層その機能を強化していきます。

本所は、金融商品取引法に基づく金融商品取引所として、株式等の発行・取引の公正性確保、流通の円滑化を通じて公正な価格形成等を図り、投資家の保護に資することを目的として活動してまいります。

2-2 中期経営方針(2022～2024)「中期経営方針」と「行動指針」

〔中期経営方針〕

地域企業の株式上場を支援するとともに、上場後も企業の健全な成長を支援していくことに加え、市場の信頼性を維持・向上していくことを通じて、幅広い投資家に本所を利用していただくことを通じ、資金の好循環を実現させ、地域取引所としての存在感を高めていきます。

I. 投資家に信頼される取引所であり続けます

適切な上場審査と企業情報開示の促進、市場取引の公正性確保を通じ安心できる取引環境を整備するとともに、投資家目線に立った情報発信の充実等を通じて、投資家の保護を図り、信頼される取引所を運営していきます。

- ・ 投資家にとって利用しやすい取引所を目指す
- ・ 投資家と上場会社を情報でつなぐ
- ・ 金融・証券の知識普及に努める
- ・ 適正に上場審査を行う
- ・ 上場会社の適切な情報開示を促す
- ・ 不公正取引を監視する
- ・ 安心できる取引環境を確保し、適確な統計情報を提供する

II. 上場を目指す会社を支援し、上場後も支援を続けます

株式上場を通じて成長を志向する企業に対して、上場に向けて様々なプログラムを通じて支援を行っていくとともに、上場後においてもIR活動や地域とのネットワークづくりなどの支援を続けていきます。

- ・ 上場を目指す会社の夢をかたちにする
- ・ 上場後も健全な成長に向け支援する

III. 経営基盤安定、地域連携を進めつつ、機能強化の取組みを進めていきます

国際金融拠点誘致の動きをはじめ社会経済情勢の変化に適確に対応し、安定的な財務基盤、効果的・効率的な組織運営、一層の地域連携を図りつつ、本所の機能強化に向けた取組みを進めていきます。

- ・ 国際金融拠点誘致の機会を活かし、機能強化に向けた検討・取組みを進める
- ・ 地域各界との緊密なネットワークづくりに励む
- ・ 会員証券会社増等を通じ、投資家層の拡充を目指す
- ・ 安定的な収支基盤を確立する
- ・ コミュニケーションを深め、働きやすい職場環境をつくる

2-3 福証が実施している主な事業等

1 株式上場に向けた支援

- ・ 上場準備段階から、様々な支援機関、福証上場会社などを通じて助言の機会などを提供
- ・ IPOチャレンジアカデミー、福証IPOセミナーなど各種上場支援プログラム、セミナーの実施
- ・ 上場審査に当たっては、時価総額・利益・純資産額等について他の市場と比較して緩やかな形式基準を採用しつつ、適切に審査を実施

2 株式上場後の支援

- ・ 福証IRフェアなど投資家に対する情報機会の提供
- ・ 福証会議室で決算時の記者会見の場を提供、福証単独上場会社の会のIR事業のバックアップ

3 投資家などに対する情報提供

- ・ 福証IRフェアの実施、福証単独上場会社の会のIR事業
- ・ 取引所ゼミナールの随時実施など金融経済教育の推進

4 地域との連携

- ・ 福証活性化推進協議会の支援を受けつつ様々な事業を展開
- ・ 地域金融機関と連携した地域企業の成長支援

3 株式上場に向けた支援 (1)九州IPO挑戦隊とIPOチャレンジアカデミー

- 「九州IPO挑戦隊」は、地域の新興企業で今後3～5年のうちに株式公開を果たしたいと明確な目標を有する企業に、株式公開にあたって必要とされる経営力や組織力を涵養するために、「九州中小・ベンチャー企業IPO支援プロジェクト(QSP ※)」を中核とした応援機関が、当該企業が上場に当たって必要なサポート活動を行っていく仕組みです。
- サポートメニューの一つとして、2012年度より新たに開始した「IPOチャレンジアカデミー」があります。これは全9回のプログラムの中で各分野のプロフェッショナルから、より実践的な指導を受けてもらい、最終的には上場に向けた「事業計画書」を作成することを通じて、企業力を高めていくことを目的としています。



※QSP構成機関

- ・福岡県ベンチャービジネス支援協議会
- ・九州ニュービジネス協議会
- ・中小企業基盤整備機構九州本部
- ・福岡証券取引所(事務局)



(IPOチャレンジアカデミーの様子)

- 2009年7月以降、第13期生まで都合**63社**がこの仕組みに参加しています。この63社の地域分布は、福岡県 36社、熊本県6社、山口県5社、佐賀県2社、長崎県3社、大分県3社、宮崎県2社、鹿児島県2社、広島県1社、東京都1社、京都府1社、沖縄県1社となっています。
- 2014年5月には「九州IPO挑戦隊」第1期生の**(株)東武住販**(本社:山口県下関市)が入会企業第1号として福証に上場を果たしました。さらに、2014年8月には第4期生の**(株)エスケホーム**(現社名**Lib Work**、本社:熊本県山鹿市)が第2号として初の福証単独上場を実現しました。2017年には、第1期生の**(株)エストラスト**(本社:山口県下関市)が福証にも上場しました。2021年11月には第3期生の**(株)フロンティア**(本社:福岡県福岡市)が福証単独上場を実現しました。

(参考)九州IPO挑戦隊入会企業一覧(計66社)

第1期生(2009年7月入会)	第3期生(2010年9月入会)	第6期生(2013年6月入会)	第9期生(2016年6月入会)	第12期生(2019年6月入会)
● 晴天(福岡) ● インターウェブ(鹿児島) ● エイムテック(熊本) ● エスエイ検査サービス(大分) ● エストラスト(山口) ● 木村情報技術(佐賀) ● 東武住販(山口) ● 益正グループ(福岡) ● ユーリンクス(福岡)	● 新栄クリエイト(山口) ● エコファクトリー(熊本) ● クイックウォッシュ(福岡) ● プロタイムズジャパン(福岡) ● フロンティア(山口)	● オンザリングス(広島) ● 九州スタッフ(福岡) ● クハラ(山口) ● コベル(福岡)	● グランドビジョン(福岡) ● グローバルブレインズ(福岡) ● ネオ倶楽部(福岡) ● Maeda(大分) ● リーフラス(東京)	● アイクリエーション(大分) ● あんしんサポート(福岡) ● オファサポート(宮崎) ● ジェイウェイブ(福岡) ● ジョブマネ(沖縄)
	第4期生(2011年4月入会)	第7期生(2014年6月入会)	第10期生(2017年6月入会)	第13期生(2021年6月入会)
	● Lib Work(熊本) ● 果実堂(熊本) ● 関家具(福岡) ● トウトウモロウ(福岡)	● TRN(福岡) ● スペースエージェンシー(熊本) ● ディー・アンド・エイチ(福岡) ● 吉川建設(長崎)	● クマモト敬和(熊本) ● クロスエイジ(福岡) ● サニーハウス(福岡) ● のぶちゃんマン(京都)	● WISHシステムコンサルティング(鹿児島) ● ツバメ・イータイム(山口) ● 寶結(福岡)
第2期生(2010年2月入会)	第5期生(2012年5月入会)	第8期生(2015年6月入会)	第11期生(2018年6月入会)	第14期生(2022年6月入会)
● 黒木(福岡) ● ヒューマン・ネットワーク(長崎) ● ブルーム(佐賀) ● やまそう(福岡) ● レオロジー機能食品研究所(福岡)	● 丸久鋼材(福岡) ● ミリオネット(福岡)	● エトウ(福岡) ● スパークジャパン(宮崎) ● ユーコネクト(福岡)	● 売れるネット広告社(福岡) ● ロカボワークス(福岡) ● ONE FOR ALL(福岡)	● 南の太陽(鹿児島) ● ダイヤモンドブルーイング(熊本) ● アオン(山口)
	表字付短証書提出企業			

3 株式上場に向けた支援 (2)九州IPO NAVIGATE

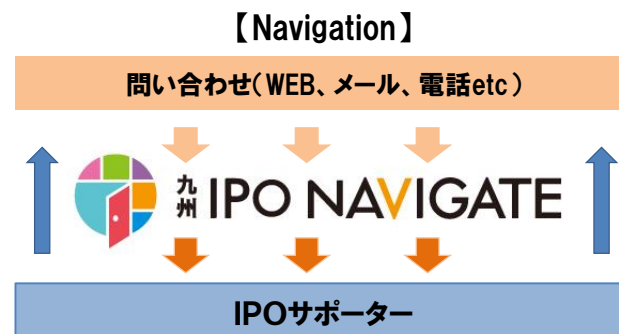
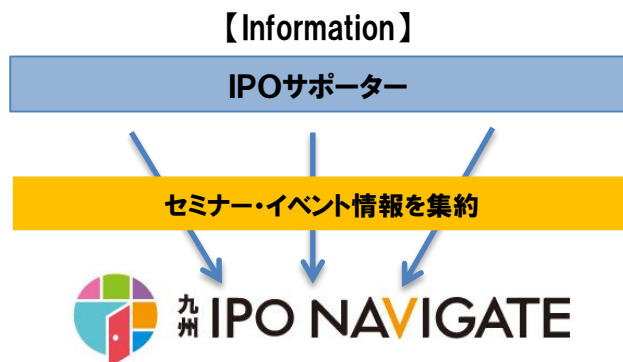
『九州IPO NAVIGATE』とは、九州中小・ベンチャー企業支援プロジェクトによる、『Information(情報発信)』機能と『Navigation(相談窓口)』機能を兼ね備えた、上場を目指す企業のために生まれたIPOに特化したプラットフォームです。

『Information(情報発信)』機能においては、IPOサポーターが主催しているセミナー・イベント・勉強会等の情報を、『九州IPO NAVIGATE』を通じて一元的に発信することにより、上場を目指す企業の皆様が、自社のステージに応じてIPOに必要なセミナー・イベント情報を、タイムリーかつ網羅的に知ることが出来る環境を提供する事を通じて、企業の効率的な上場準備に貢献します。

『Navigation(相談窓口)』機能においては、新たに『九州IPO NAVIGATE』として、相談窓口の旗印を掲げることで、潜在的に上場に関心があるような企業が、より気軽に相談出来る環境をつくることを通じて、上場を目指す企業の裾野の拡大に貢献します。

また、相談企業の希望に応じて、IPOサポーターとのマッチングの機会を提供し、企業の上場準備がよりスムーズに進むようサポートします。

<https://www.fse.or.jp/iponavigate/>



3 株式上場に向けた支援 (3)福証IPOセミナー

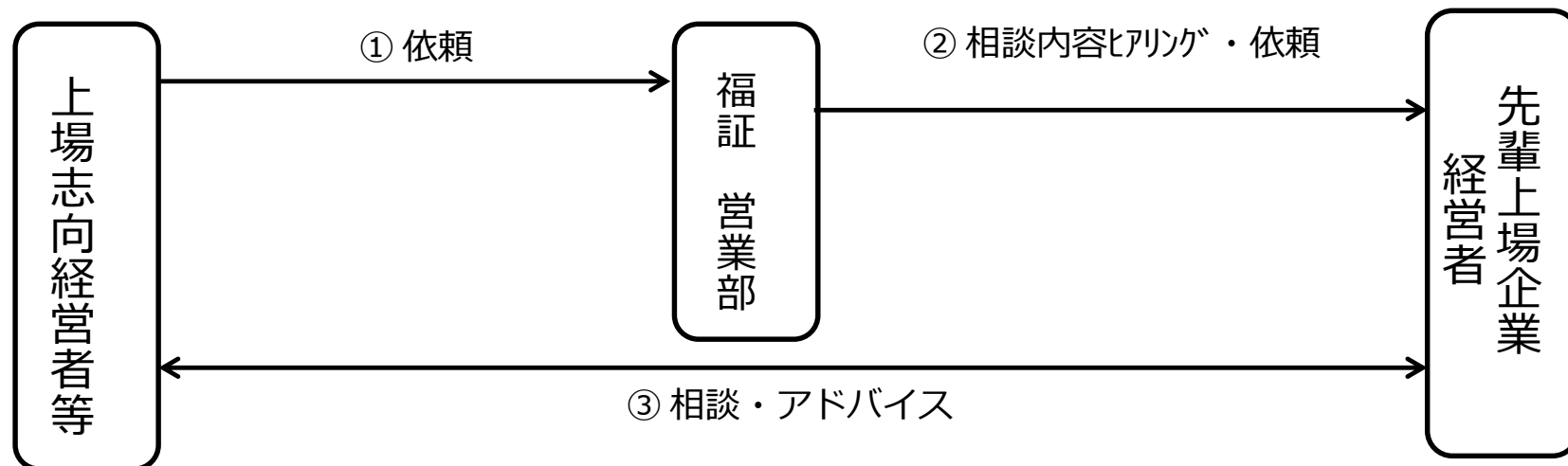
上場志向企業の経営者や管理責任者に対して、**上場準備に必要と思われる内容をオープンセミナー形式**で開催しています。

【開催実績】

	開催日	タイトル	開催方式	プログラム	テーマ	登壇者
1	2021.4.23	独立系VC社長とQ-Board単独上場社長が地域からのIPOについて語る	Web	・講演 ・パネルディスカッション	・九州からのIPO	・講師:K&Pパートナーズ 代表取締役 松村 伸也氏 ・パネラー:(株)ビー・ピーシステムズ 社長 富田 和久氏、K&P 松村社長 ・モデレーター:福証 三橋
2	2021.9.16	これから上場を目指す管理部長・ご担当者向けセミナー	Web	・講演	・知って得するコーポレートガバナンスコードのポイント	・講師:三菱UFJ信託銀行 証券代行営業推進部 IPO支援室 エキスパート 寺岡 寛和氏
3	2021.11.15	これから上場を目指す管理部長・ご担当者向けセミナー	Web	・講演	・反社対応のリアル ・最近のIPO動向と上場に向けた内部管理体制の整備	・講師:(株)エス・ピー・ネットワーク 取締役副社長 主任研究員 芳賀 恒人氏 ・講師:(株)タスク(宝印刷グループ) 専務執行役員 河野 真宏氏
4	2021.12.10	経験者に聞く重複上場～福証の活用方法と重複上場の意義を知ろう～	会場・Web	・講演 ・パネルディスカッション	・経験者に聞く重複上場	・講師:IPO協会 轟(一社) 代表理事 加藤 広晃氏 ・パネラー:(株)ブリングラック 代表取締役 吉行 亮二氏、 メディア総研(株) 取締役管理部長 馬木 均氏 ・モデレーター:加藤 広晃氏
5	2022.2.28	経験者に聞く上場体験談～Q-Boardを活用する方法～	Web	・講演 ・パネルディスカッション	・TPM・福証Q-Board上場体験談 ・福証Q-Boardの活用について	・講師:(株)Geolocation Technology 代表取締役社長 山本 敬介氏 (株)フロンティア 代表取締役社長 山田 紀之氏 ・パネラー:山本社長、山田社長、 エイチ・エス証券 上席執行役員 投資銀行本部管掌 堀 修氏 ・ファシリテーター:(株)トライアンド 代表取締役社長 前田 隆氏
6	2022.5.18	先輩上場経営者から見た株式上場 当社の成長ストーリー	会場・Web	・パネルディスカッション	・株式上場 当社の成長ストーリー	・パネラー:(株)cotta 代表取締役会長 佐藤 成一氏、(株)グランディーズ 代表取締役社長 亀井 浩氏、(株)テクノ・ホールディングス 代表取締役社長 池内 比呂子氏 ファシリテーター:(株)トライアンド 代表取締役社長 前田 隆氏

3 株式上場に向けた支援 (4)福証IPOアンバサダー制度

先輩上場経営者（IPOアドバイザー）が、上場志向企業経営者等に対して
上場や経営に関するアドバイスを行ないます。



【IPOアンバサダー（2022年5月31日現在 順不同）】

(株)cotta	代表取締役会長	佐藤 成一 様	(株)Lib Work	代表取締役社長	瀬口 力 様
(株)グランディーズ	代表取締役社長	亀井 浩 様	(株)ピー・ビー・システムズ	代表取締役社長	富田 和久 様
(株)テクノホールディングス	代表取締役社長	池内 比呂子 様	(株)フロンティア	代表取締役社長	山田 紀之 様
(株)IMビルズ	代表取締役社長	山本 貴士 様			

4 株式上場後の支援 (1)福証IRフェア

福証では地域の個人投資家の皆さまを対象とした「福証IRフェア」を行っており、上場企業の皆さまと地域の投資家の皆様を結びつける場として高い頻度で開催しております。(現在はオンラインで開催中)

当IRフェアは、個人投資家の方にとって、無料でご参加いただける機会(要事前登録)であることに加え、福証上場企業にとっても、低廉なコストで投資家向けに直接IRを行う機会となっています。

また、福証単独上場企業で構成されている「単独上場会社の会」では、一層企業の業況などを個人投資家に知っていただくために毎年「IR NAVI福証」を作成しWEBで公開するなど、IR活動に力を入れております。

<参加企業の声>

- ・九州地域での個人投資家向け説明会として大変貴重な場であり、個人投資家から率直な意見を伺える点がよい。
- ・来場者のアンケート結果が参考となった。
- ・上場したばかりでIRの参加経験が少ないため、会場の雰囲気や事前準備など大変勉強になった。
- ・株主総会以外では直接対話のできない個人投資家と意見交換ができる点や費用についても他のIR支援会社の主催するものより安価である点が魅力。



IRフェア開催実績(2021年8月以降)

開催日	参加企業
2021. 8.30	大英産業(株) (株)テノ・ホールディングス
2021. 9.28	(株)コーセーアールイー
2021.10.14	メディア総研(株)
2021.11.16	イフジ産業(株)
2021.12.15	(株)Geolocation Technology (株)エムビーエス
2021.12.22	日創プロニティ(株) 福岡リート投資法人
2021.12.24	(株)九電工
2022.02.03	西部ガスホールディングス(株)
2022.02.09	昭和鉄工(株) 九州旅客鉄道(株)
2022.03.16	メディア総研(株) (株)エムビーエス
2022.03.24	(株)LibWork (株)フロンティア
2022.04.20	日創プロニティ(株) ポート(株)
2022.07.13	小野建(株)

4 株式上場後の支援 (2)決算等記者発表会場の提供 (3)「福証単独上場会社の会」事務局

福証では、本所上場会社が決算等の記者会見を行う際において、本所大会議室(約126㎡)を提供しております(本所が所在する福岡証券ビル3Fに福岡金融・経済記者クラブも所在)。



また、福証では、「福証単独上場会社の会」の事務局を務めております。福証単独上場会社の会では、企業の業況などを一層、個人投資家に知っていただくために、WEBサイトでのIR活動などに力を入れております。
(IR NAVI福証)

<https://www.irnavi-fse.jp/>



5 地域との連携 (1)福証活性化推進協議会

➤地域社会による福証の支援機関として、1998年(平成10年)6月に『福岡証券取引所活性化推進協議会』が設立されました。

<活性化推進協議会の目的>

協議会は、経済界、行政など各界が一体となって福岡証券取引所の活性化を図り、地域経済の発展とアジアの拠点としての九州の役割高揚に資することを目的とする。

福岡証券取引所活性化推進協議会設立趣旨

(平成10年6月2日)

福岡証券取引所は、昭和24年に設立されて以来、地場産業の育成、上場促進に努め、地域経済の発展に多大の貢献をなしてきた。しかしながら、近年、福岡証券取引所は、他の地方証券取引所と同じく、売買高の減少、新規上場企業数の低迷などにより、市場としての機能が低下し、上場市場としての魅力が失われつつある。また、規制緩和、情報技術の進展に伴う地方市場の衰退も懸念され、今後の存在意義が問われるところとなっている。

今後、九州が、アジア経済の発展の中で、経済の一層の高度化を図りつつ、拠点的役割を果たしていくためには、地方証券取引所の機能は、是非とも維持しなければならない、極めて重要な機能であり、いわば貴重な社会資本とも言えるものである。

特に、アジアの拠点都市を標榜する福岡においては、金融市場という高次の機能を保持することは、都市のステータスの高揚のために必要不可欠であり、福岡証券取引所の活性化は喫緊の課題となっている。したがって、ここに地元経済界、行政が一体となって福岡証券取引所の活性化対策に取り組むこととし、その推進のために「福岡証券取引所活性化推進協議会」を設立するものである。

【1998年(平成10年)6月】

福証活性化推進協議会メンバー(2021年7月9日現在)

役 職	機 関	委 員	
会 長	福 岡 経 済 同 友 会	恒 久 幹 事	貫 正 義
副 会 長	福 岡 商 工 会 議 所	会 頭	谷 川 浩 道
委 員	九 州 経 済 連 合 会	専 務 理 事	長 尾 成 美
"	北 九 州 商 工 会 議 所	会 頭	利 島 康 司
"	福 岡 県	副 知 事	江 口 勝
"	福 岡 市	副 市 長	中 村 英 一
"	北 九 州 市	副 市 長	梅 本 和 秀
"	九 州 電 力	社 長	池 辺 和 弘
"	西 日 本 鉄 道	社 長	林 田 浩 一
"	西 部 ガ ス	社 長	道 永 幸 典
"	九 電 工	社 長	佐 藤 尚 文
"	九 州 旅 客 鉄 道	社 長	青 柳 俊 彦
"	T O T O	会 長	喜 多 村 円
"	安 川 電 機	社 長	小 笠 原 浩
"	山 口 銀 行	頭 取	神 田 一 成
"	北 九 州 銀 行	頭 取	嘉 藤 晃 玉
"	福 岡 銀 行	頭 取	柴 戸 隆 成
"	西 日 本 シ テ ィ 銀 行	頭 取	村 上 英 之
"	筑 邦 銀 行	頭 取	佐 藤 清 一 郎
"	佐 賀 銀 行	頭 取	坂 井 秀 明
"	十 八 親 和 銀 行	頭 取	森 拓 二 郎
"	肥 後 銀 行	頭 取	笠 原 慶 久
"	大 分 銀 行	頭 取	後 藤 富 一 郎
"	宮 崎 銀 行	会 長	平 野 亘 也
"	鹿 児 島 銀 行	頭 取	松 山 澄 寛
"	琉 球 銀 行	会 長	金 城 棟 啓
"	沖 縄 銀 行	頭 取	山 城 正 保
オブザーバー	福 岡 証 券 取 引 所	理 事 長	長 宣 也
"	F F G 証 券	社 長	原 田 康 平
"	西 日 本 シ テ ィ T T 証 券	社 長	定 野 敏 彦
"	大 和 証 券	福 岡 支 店 長	中 川 隆 弘
"	S M B C 日 興 証 券	福 岡 支 店 長	加 藤 誠 司
"	野 村 證 券	福 岡 支 店 長	井 谷 宗 弘
事務局長	福 岡 証 券 取 引 所	専 務 理 事	酒 井 慎 一

5 地域との連携 (2) 福証企業交流会

年に一度、福証活性化推進協議会との共催で、「福証企業交流会」を行っております。

この企業交流会は、関係行政機関、会員証券会社、福証上場企業、上場を目指す企業、監査法人、ベンチャーキャピタル等の広範な関係者を多数招き、福証の活動に理解を深めていただくとともに、様々な異なる立場の参加者の交流から生まれる「横の連携」を深めていく趣旨で始めたものです。

[福岡証券取引所 設立70周年記念企業交流会的一幕(2019年7月25日開催)]



九州IPO挑戦隊企業のご紹介

新規上場会社のご紹介



上段:開催挨拶をされる福証活性化推進協議会会長
下段:懇親会の様子

5 地域との連携 (3)地域金融機関との協力協定

「地域における企業の株式上場に向けた成長支援に関する協力協定」締結

本所は、九州7県・沖縄・山口・広島各県に本店の所在する銀行18行各々と「地域における企業の株式上場に向けた成長支援に関する協力協定」を締結しており、地域に密着する各行とのこのような協力関係の構築により、今後も、地域経済の活性化・発展に一層寄与してまいります。

- | | |
|----------|---|
| 1. 協定締結日 | 2017年11月20日、2018年4月24日、2019年9月26日 |
| 2. 協定締結先 | (株)福岡銀行、(株)西日本シティ銀行、(株)筑邦銀行、(株)北九州銀行、
(株)佐賀銀行、(株)十八親和銀行、(株)肥後銀行、(株)大分銀行、
(株)宮崎銀行、(株)鹿児島銀行、(株)沖縄銀行 ※2020年10月 (株)十八銀行と(株)親和銀行合併

以上11行(2017年11月20日)

(株)山口銀行、(株)もみじ銀行、(株)福岡中央銀行、(株)豊和銀行、
(株)宮崎太陽銀行、(株)南日本銀行

以上6行(2018年4月24日)

(株)琉球銀行

以上1行(2019年9月26日) |
| 3. 目的 | 本所及び各行が相互に連携・協力し、地域における企業の株式上場に向けた成長支援を図ることで、地域経済の活性化・発展に寄与することを目的とします。 |
| 4. 協定内容 | (1)株式上場に関する個別相談対応
(2)株式上場に関する情報提供
(3)その他両社が協議し合意した事項の推 |

参考1:単独上場会社一覧

【本則市場（19社）】

会社名	本社所在地	コード・業種	会社名	本社所在地	コード・業種
日本乾溜工業	福岡市	1771・建設業	サイバーヘルディングス	福岡県朝倉市	1999・建設業
ヒガシマル	鹿児島県日置市	2058・食料品	マルタイ	福岡市	2919・食料品
サンケイ化学	鹿児島市	4995・化学	丸東産業	福岡県小郡市	7894・化学
昭和鉄工	福岡市	5953・金属製品	第一交通産業	福岡県北九州市	9035・陸運業
RKB毎日ホールディングス	福岡市	9407・情報通信	M i s u m i	鹿児島市	7441・卸売業
グリーンクロス	福岡市	7533・卸売業	ジョイフル	大分市	9942・小売業
筑邦銀行	福岡県久留米市	8398・銀行業	福岡中央銀行	福岡市	8540・銀行業
南日本銀行	鹿児島市	8554・銀行業	豊和銀行	大分市	8559・銀行業
宮崎太陽銀行	宮崎市	8560・銀行業	大英産業	福岡県北九州市	2974・不動産業
アメイズ	大分市	6076・サービス業			

【Q-Board（7社）】

会社名	本社所在地	コード・業種	会社名	本社所在地	コード・業種
フロンティア	福岡市	4250・化学	メディアファイブ	福岡市	3824・情報通信
Geolocation Technology	静岡県三島市	4018・情報通信	ピー・ビーシステムズ	福岡市	4447・情報通信
TRUCK-ONE	山口県下松市	3047・卸売	ビジネス・ワンホールディングス	福岡市	4827・不動産
ハウスフリーダム	大阪府松原市	8996・不動産			

(2022年8月1日現在)

参考2：福証と東証等との重複上場銘柄（83銘柄）

コード	銘柄	コード	銘柄	コード	銘柄	コード	銘柄	コード	銘柄	コード	銘柄
1518	三井松島HD	1401	エムビーエス	1419	タマホーム	1431	L i b W o r k	1743	コアアツ工業	1802	大林組
1848	富士P S	1959	九電工	1966	高田工業所	2009	鳥越製粉	2503	キリンHD	2924	イフジ産業
3943	大石産業	4208	U B E	4502	武田薬品工業	4530	久光製薬	5108	ブリヂストン	5233	太平洋セメント
5332	T O T O	5352	黒崎播磨	5401	日本製鉄	5802	住友電気工業	3440	日創プロニティ	6144	西部電機
6492	岡野バルブ	7011	三菱重工業	7013	I H I	6504	富士電機	6506	安川電機	6622	ダイヘン
6653	正興電機製作所	6966	三井ハイテック	6998	日本 タングステン	7751	キヤノン	7813	ブラッツ	9508	九州電力
9511	沖縄電力	9536	西部ガスHD	9031	西日本鉄道	9065	山九	9142	J R九州	9119	飯野海運
4392	F I G	9474	ゼンリン	9601	松竹	9602	東宝	3166	O C H I ・ H D	3359	c o t t a
7130	ヤマエグループ HD	7414	小野建	7417	南陽	7525	リックス	8031	三井物産	3099	三越伊勢丹HD
8179	ロイヤルHD	8200	リンガーハット	8203	M r M a x H D	8230	はせがわ	8260	井筒屋	7180	九州F G
7189	西日本F H	7350	おきなわF G	8354	ふくおかF G	8392	大分銀行	8393	宮崎銀行	8395	佐賀銀行
8399	琉球銀行	8596	九州リース サービス	3246	コーセー アールイー	3261	グランディーズ	3280	エストラスト	3286	トラストHD
3297	東武住販	8803	平和不動産	4651	サニックス	6195	ホープ	6537	W A S Hハウス	7037	テノ、HD
7047	ポート	9242	メディア総研	9656	グリーンランド						
								8968	福岡リート	1319	300投信
	は本則上場銘柄		はQ-Board上場 銘柄								

（2022年8月1日現在）

参考3:会員証券会社一覧

【一般正会員（13社）】

会社名	会社名	会社名
F F G証券	野村證券	みずほ証券
岩井コスモ証券	丸三証券	東洋証券
大和証券	岡三証券	だいこう証券ビジネス
東海東京証券	S M B C日興証券	三菱U F Jモルガン・スタンレー証券
西日本シティ T T証券		

【特定正会員（8社）】

会社名	会社名	会社名
松井証券	auカブコム証券	マネックス証券
立花証券	廣田証券	エイチ・エス証券
S B I証券	アイザワ証券	

(2022年8月1日現在)

(X毛)

地域とともに 福証 その先へ

法人名	証券会員制法人 福岡証券取引所
代表者	理事長 長宣也(おさのぶや)
設立	1949年6月7日（開所 7月4日）
所在地	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-14-2 福岡証券ビル3F
取引時間	前場 午前9時00分～午前11時30分 後場 午後0時30分～午後3時30分
問い合わせ先	TEL:092-741-8231(代) (上場相談については、営業部(TEL:092-741-8233、Mail:f-eigyo@fse.or.jp)まで

■本資料は福岡証券取引所に関する業務の説明資料として作成しています。

■記載の内容、数値等は万全を期していますが、その数値等は発表された企業情報に基づいたものであり、変更されることがあります。

■また、上場企業等についても記載、説明がされていますが、これらは個別企業への株式投資を推奨するものではありません。投資等の判断には他の情報等をご参照いただきますようご注意ください。